デジカメ講座

【Windows7 用】

気軽に写真が撮れるデジタルカメラ！

枚数を気にせず気軽にシャッターを切ってみよう。
撮った写真はパソコンに取り込むことができ、きれいな写真に修整したり、フォトムービーや、アルバムを作って楽しむことができます。

写真の修整には
「Windows Live フォトギャラリー」
フォトムービーには
「Windows Live ムービー メーカー」
アルバム作成には
「Word2010」を使用しています。

NPO 法人彩の国 ICT 普及協会

デジカメ講座

1 回目　7 月 19 日

デジタルカメラの特徴
デジタルカメラの撮り方
パソコンに接続して写真を取り込もう（ピクチャ）
　フォルダーの作成　　「2014-07-19 プラザウエスト」などと統一
スライドショーで写真を見よう
　ピクチャフォルダーに取り込んだ写真を［スライドショー］ボタン
お気に入りの写真でデスクトップを飾ってみよう
選んだ写真を右クリック ⇒ デスクトップの背景として設定
（お気に入りの 1 枚を L 版または、はがきに印刷してみよう）

2 回目　7 月 26 日

パソコンに接続して写真を取り込もう
フォルダーの作成　　「2014-07-26 プラザウエスト」などと統一
写真を修整しよう（修整する写真をコピーしよう）
　Windows Live フォトギャラリーの使い方
ピクチャフォルダーの写真を USB に移動しよう

3 回目　8 月 2 日

フォトムービーを作成しよう
　Windows Live ムービーメーカーの使い方

4 回目　8 月 9 日

写真を使って作品を作ろう
　Word でオリジナルアルバムを作ってみよう
　アルバムを光沢紙に印刷してみよう

ご用意するもの　デジタルカメラ本体
　　メモリーカード
　　その他付属品や、取扱説明書
※ 充電をたっぷりしておきましょう

デジタルカメラの特徴

きれいな写真を簡単撮影

デジカメが自動的に状況を判断し、被写体に
最適な機能が働いて、誰でも簡単に写真が撮れます。
CCD と呼ばれる撮像素子を通してデータを作り、
そのデータを記録メディアに保存します。

撮ったその場で確認、チェックできる

液晶モニタがあるので、撮影直後に、
再生モードに切り替えて、すぐに確認できます。
「ピントが合っていない」「目を閉じている」
「撮影中に人が横切ってしまった」など、その場で削除でき、
納得のいくまで撮り直すことができます。

たくさんの写真が撮れる

デジカメは大容量のメモリーカードさえ用意しておけば、たくさんの写真が撮れます。最近は 8GB、16GB などの大容量のメモリーカードもあります。1000 万画素の高画質モードで撮影しても、2000～3000 枚近い写真を撮りためることは可能です。

印刷やプリントが手軽

プリンタで印刷ができます。メモリーカードを入れて印刷できるプリンタもあります。

インターネットで送信、公開

メールに添付して友人に送ったり、ブログなどインターネットに公開もできます。

撮った写真は画像ファイルとして保存

画像ファイルとしてデジカメ内のメモリーカードに
保存されます。パソコンに取り込んだ後、
CD や DVD に保存するなど管理が簡単です。

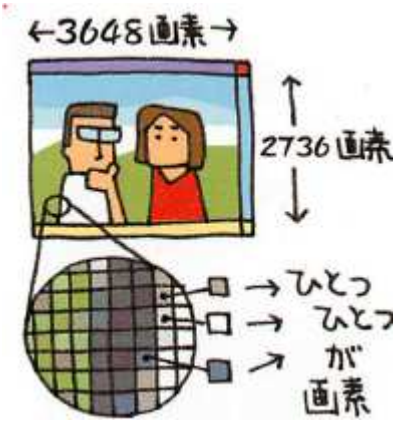
パソコンに取り込み、加工や文書作成が簡単

簡単にパソコンに取り込むことができます。
写真の仕上がりに不満があるときには、明るさを変更や、
傾き、赤目修整などもできます。
写真を使い、暑中見舞いや、アルバム、動画などを作成できます。
作成した動画を DVD へ保存をし、パソコンやテレビなどでも再生ができます。

画像サイズ

デジカメで撮影した写真は、一つ一つの点（画素）として記録します。この画素のことを「ピクセル」とも呼びます。多いほどファイルサイズも大きくなります。

画素数（ピクセル）			用　途
大きい ↕ 小さい	10M	3648×2736	A3 サイズ以上に印刷
	6M	2816×2122	A3 サイズ（297×210mm）に印刷
	5M	2560×1920	
	4M	2304×1728	A4 サイズ（297×210mm）に印刷
	3M	2048×1536	
	2M	1600×1200	L 版（127×89mm）に印刷
	0.3M	640×480	電子メールで送信

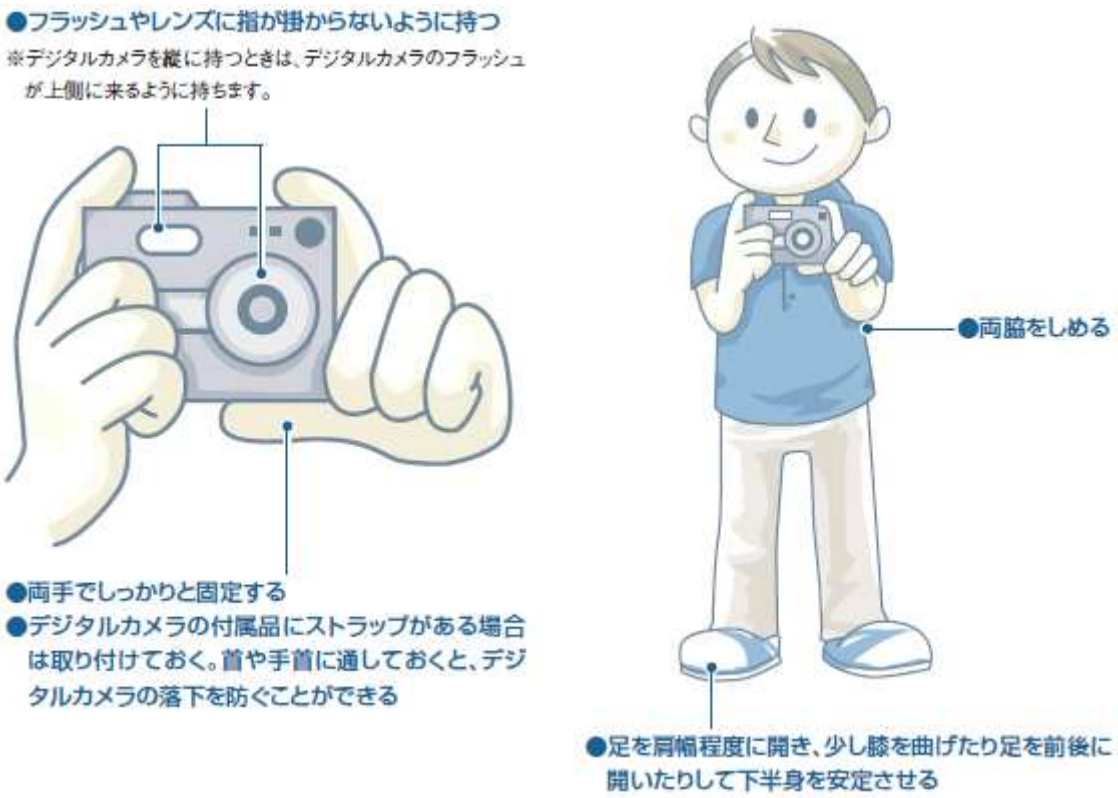


画素数
画面を構成する点の数
画面を構成する一つ一つの点を「画素」といいます。縦と横の画素数をかけることで、総画素数がわかります。
3648×2736＝9,980,928 なので、約 1,000 万画素となります。「画素数」の多い画像は、その分データ量が大きくなります。

光学ズームとデジタルズーム
光学ズームは、レンズの焦点距離を変えることができるタイプ。
デジタルズームは、写真の一部を切り取って拡大することで被写体を大きく見せる撮影方法のこと。デジタルズームで拡大すればするほど、画像は劣化します。

基本的なデジタルカメラの撮り方

撮影するときは、しっかり両手で持ちましょう。
手のひら全体を使ってしっかり持ちます。こうすることによってシャッターボタンを押す瞬間にカメラが動いてしまうのを防ぐことができます。



1. 被写体にピントを合わせる
   ほとんどのデジカメにはオートフォーカス（AF）機能が搭載
   ① 被写体を液晶画面の中心に合わせる
   ② シャッターボタンを半押ししてピントを固定する
   ③ カメラの向きをずらして構図を変える
   ④ シャッターボタンをしっかり最後まで押す。

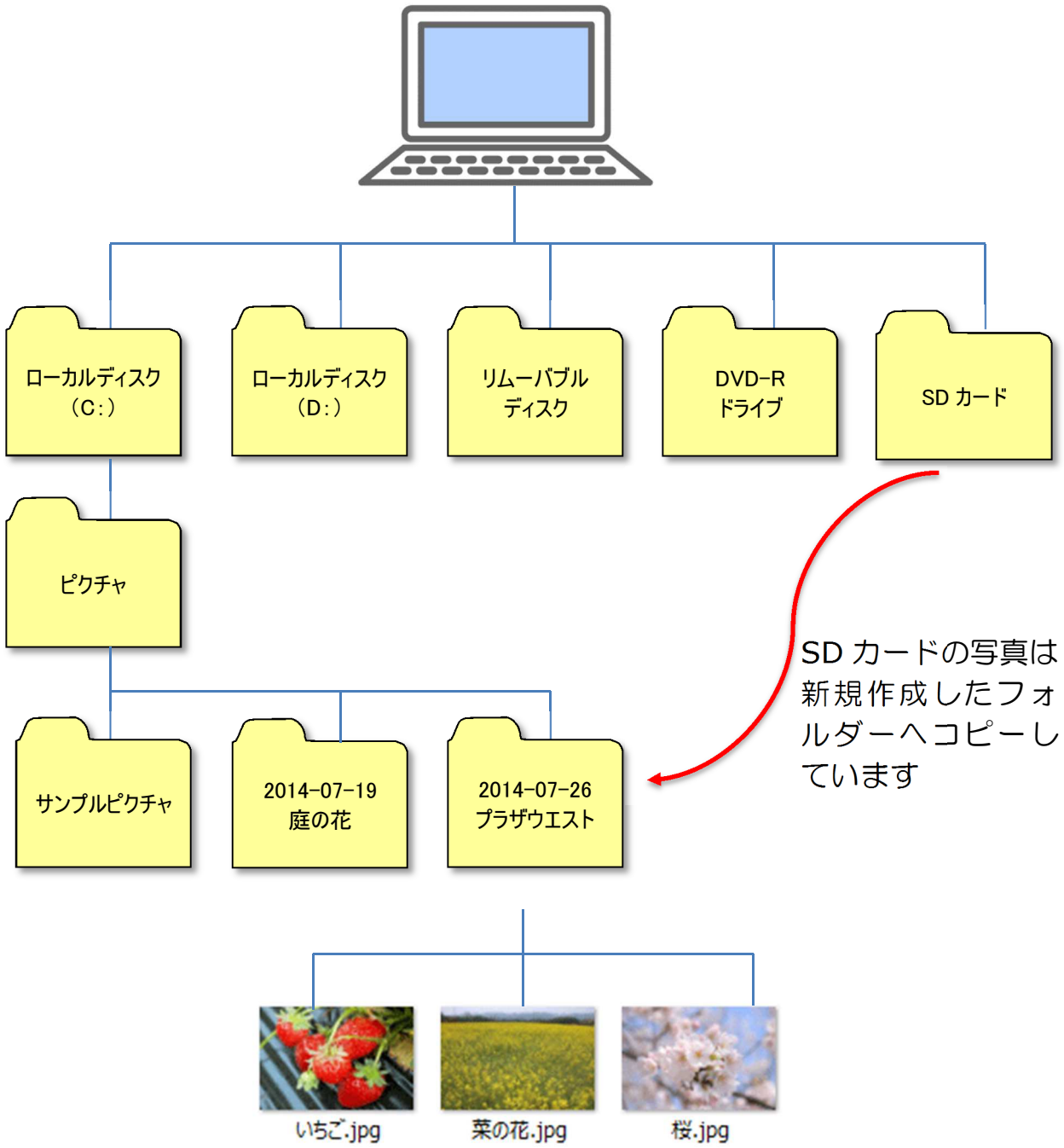
2. 手ブレを防ぐ
   両脇をしめる。手ブレ補正機能が搭載されている場合はつかいましょう。

3. 光の向きを考える
   順光（正面から）…被写体に影ができにくい。
   測光（左右から）…被写体の輪郭や質感を強調できる。
   逆光（背中から）…被写体の正面が影になる。フラッシュを使用してみよう。

「フラッシュ」「ズーム」「赤目軽減」「マクロ」「夜景」モードなども利用しよう。

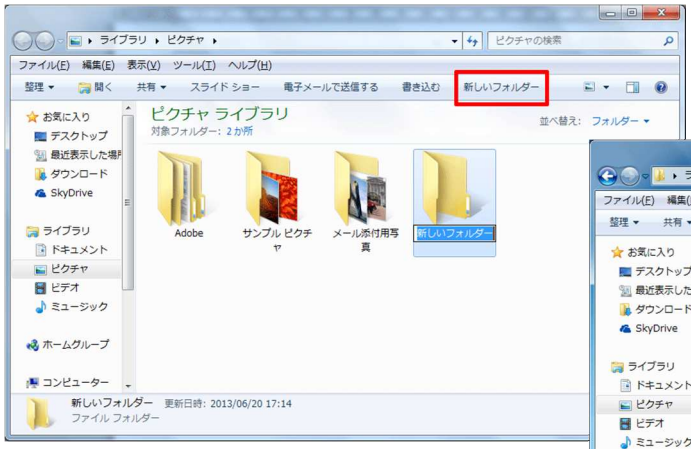
パソコンに接続して写真を取り込もう（ピクチャ）

写真フォルダーの階層

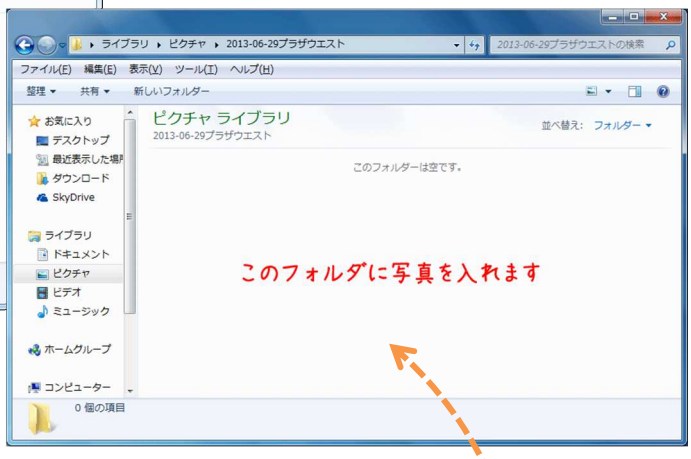


ピクチャフォルダーに新しいフォルダーを作成して、その中に写真を入れましょう。
新しいフォルダーを作りましょう
　スタート ⇒ ピクチャ ⇒［新しいフォルダー］をクリックします。
　「2014-07-19 プラザウエスト」と入力します。
　フォルダー名は統一しておきましょう。

新しく作ったフォルダー側

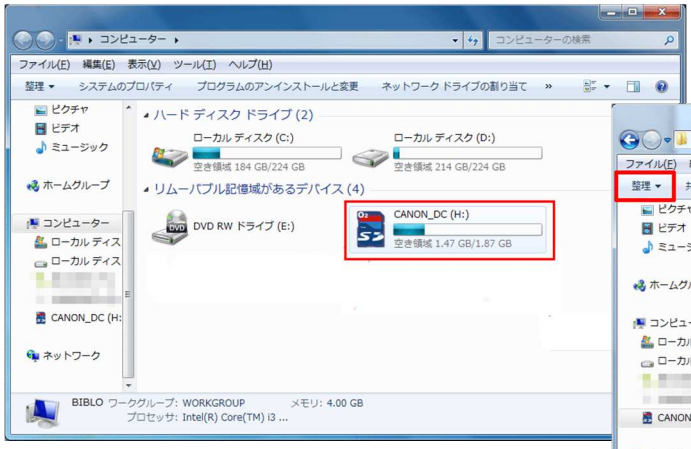


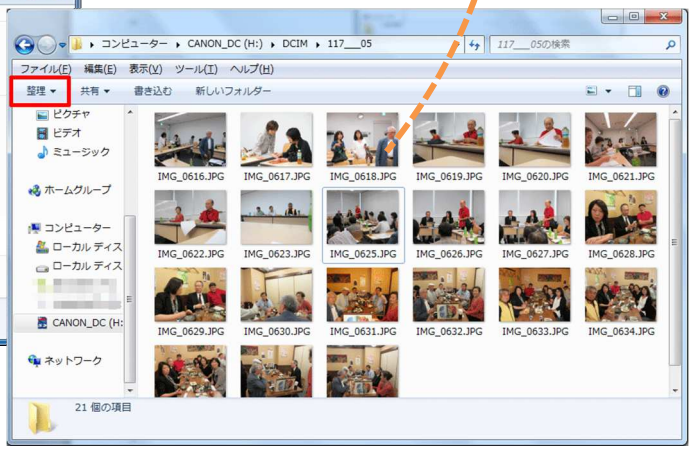
作ったフォルダーを開いておきます。



写真が入っている SD カード側

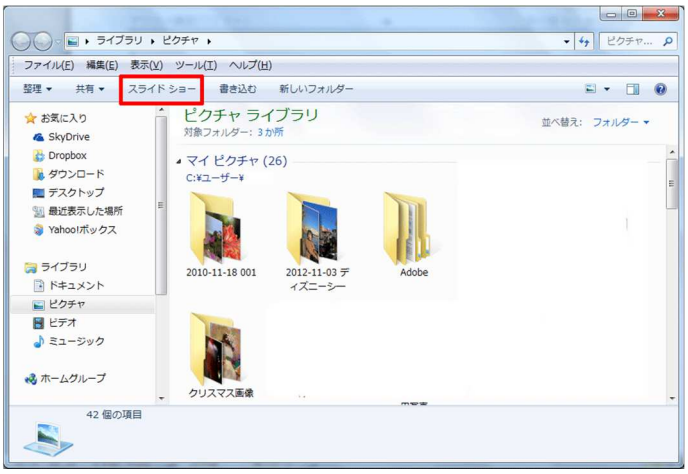
SD カードをスロットに差し込みます。またはケーブルで接続します。
スタート ⇒ コンピューター ⇒ SD カード ⇒ DCIM ⇒ 写真が入っているフォルダーを開きます。





コピーをしたい写真を選び（すべての写真を選択するには、整理⇒すべて選択）
上で作ったフォルダー「2014-07-19 プラザウエスト」にドラッグしましょう。

スライドショーで見てみよう



ピクチャフォルダーで、［スライドショー］をクリックします。
終了するには、右クリック⇒終了

デスクトップの背景にしてみよう

選んだ写真を右クリック⇒「デスクトップの背景として設定」をクリック。

戻すには、
デスクトップで右クリック ⇒ 個人設定 ⇒ Windows7 をクリックします。

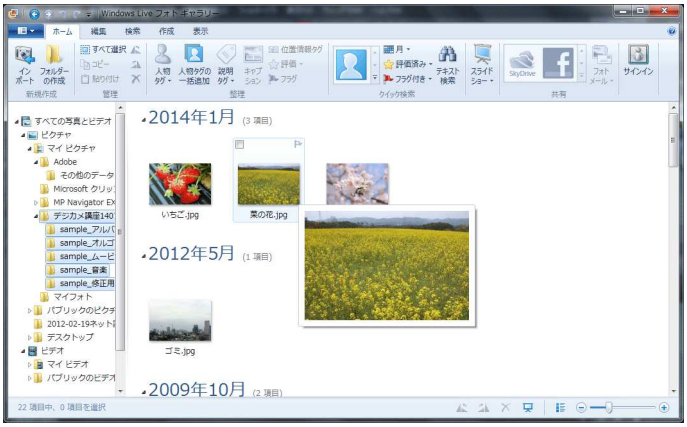
Windows Live フォトギャラリー

Windows Live フォトギャラリーは、デジカメ写真を管理・編集するためのソフトです。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードできる無料のソフトです。撮影後の写真をより美しく、簡単に修整できるようになります。

	修整前	修整後
自動修正		
傾きの調整		
トリミング		
赤目修整		
不要物を削除		
いいとこ取り		

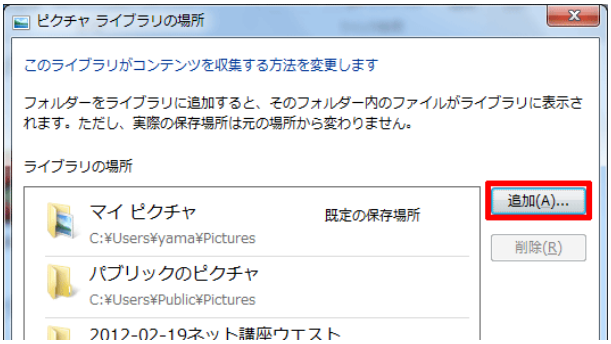
Windows Live フォトギャラリーに写真を取り込む

Windows Live フォトギャラリーを起動しよう。
スタート ⇒ すべてのプログラム ⇒ Windows Live フォトギャラリー

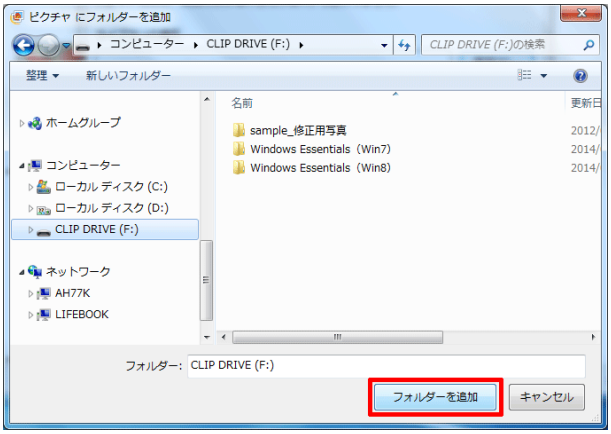


フォトギャラリーを起動すると、標準では左側に「ピクチャ」などのフォルダーが表示されます。

「ピクチャ」フォルダー以外の場所の写真を表示する場合は、手動でフォルダーを追加しましょう。
「すべての写真とビデオ」を右クリック ⇒「ギャラリーへのフォルダーの追加」を選びます。



「ピクチャライブラリの場所」画面が開くので、「追加」をクリックします。

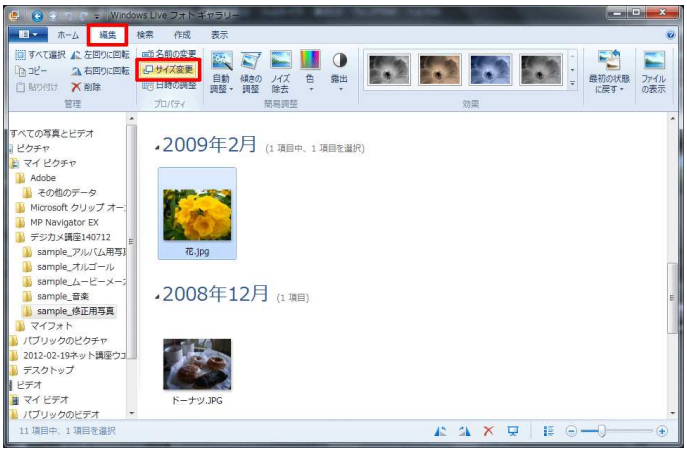


フォルダーを選択し、[フォルダーを追加]をクリックします。

Windows フォトギャラリーの修整機能には、「サイズ変更」「自動調整」「傾きの調整」「画像のトリミング」「赤目修整」など簡単な修正ができます。

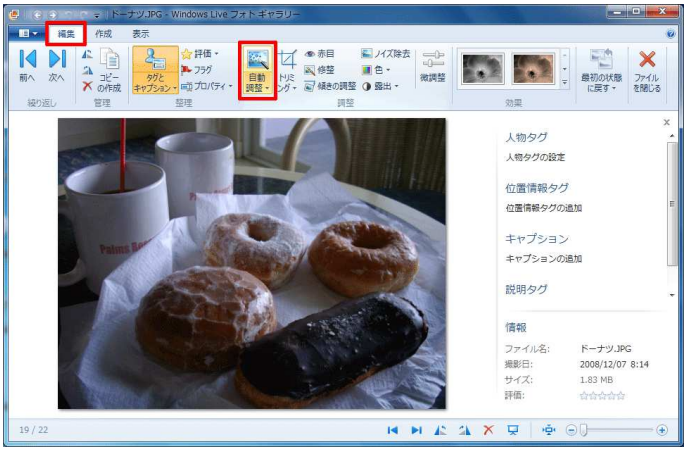
- 修整する場合は、あらかじめ画像をコピーしておき、その画像で編集作業を行いましょう。

サイズ変更…サイズ変更をして、電子メールなどでも送れるようにします。



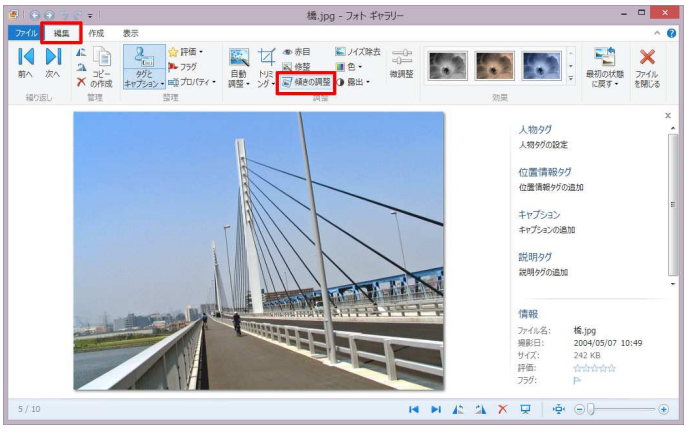
サムネイル表示のまま、
写真を選択し、[編集] ⇒ [サイズ変更] サイズの選択▽

自動調整…画像の明るさ、コントラスト、および色を自動的に最適化します。



画像を W クリック
［編集］⇒［自動調整］

傾きの調整…斜めに撮ってしまった写真の傾き調整してくれます。

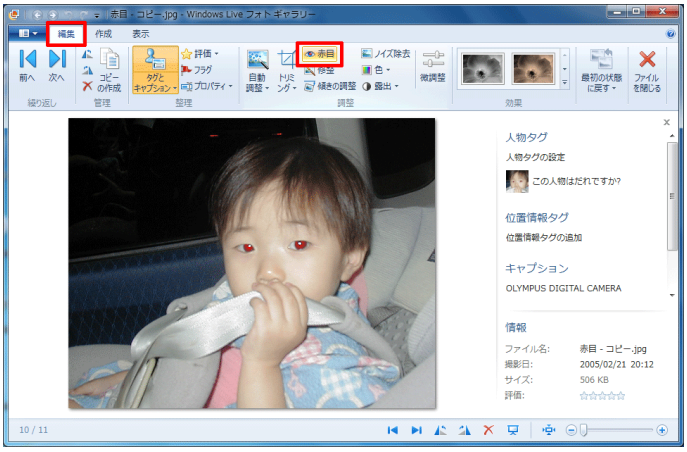


画像を W クリック
［編集］⇒［傾きの調整］

画像のトリミング…画像をトリミングして、不要な部分を削除したり、シーンの一部分に焦点を置いたり、比率を変更したりします。

画像を W クリックして
［編集］⇒［トリミング］

赤目修整…フラッシュが目に反射したことによる赤目を除去します。

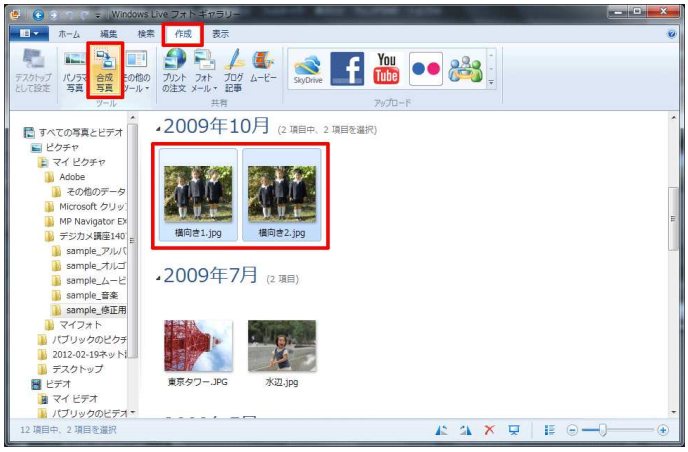


画像を W クリック
［編集］⇒［赤目］
＋ マークで赤いところをドラックします

不要物を削除…写真に写ってしまったゴミなどをワンタッチで削除します。

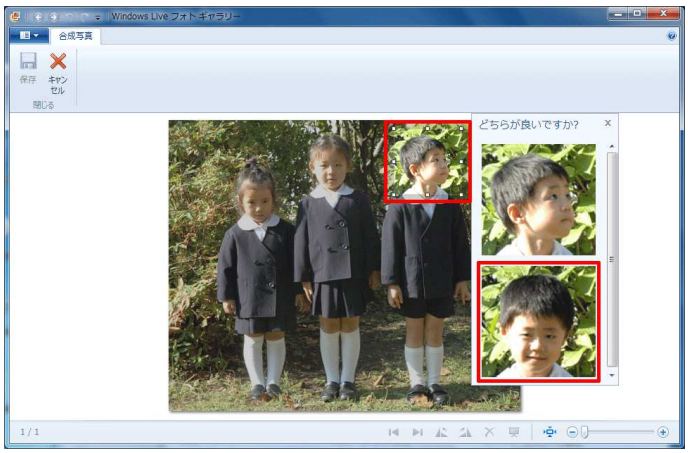
画像を W クリック
［編集］⇒［修整］

2 枚の写真からいいとこ取り…2 枚の写真から「合成」機能を使って、3人ともカメラ目線の写真を作成することができる。



サムネイルの画面で、合成したい写真 2 枚を選択する。
（写真を囲むようにドラッグする）

［作成］⇒［合成写真］



異なる部分が認識され「どちらが良いですか？」と提案されるので、クリックして選びます。

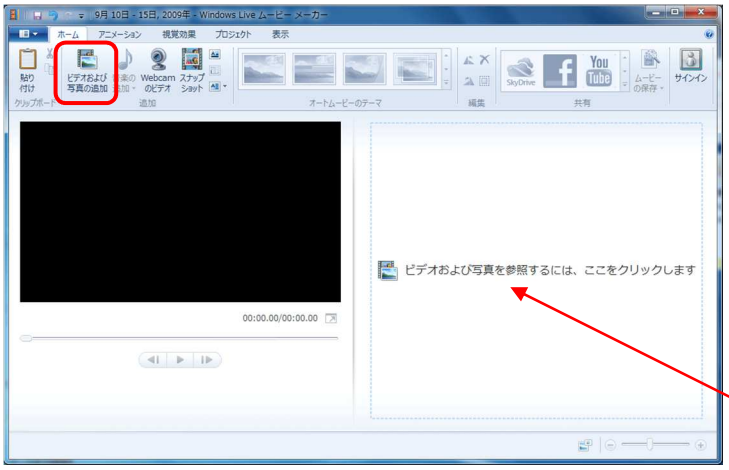
提案された候補をクリックして選ぶと、その部分だけをもう 1 枚の写真と差し替えて、違和感なく合成してくれます。

※ 集合写真を撮ったのに、一人が目を閉じている…そんな失敗が良くあります。そんな時も写真を何枚かとっておけば、複数の写真から、“いいとこ取り”をして合成すれば、完璧な写真を作ることができます。
集合写真は、2～3回シャッターを切りましょう。

動画を作ってみよう

オートムービー機能を使用して自動的にムービーを簡単に作成します。

Windows Live ムービーメーカーを起動

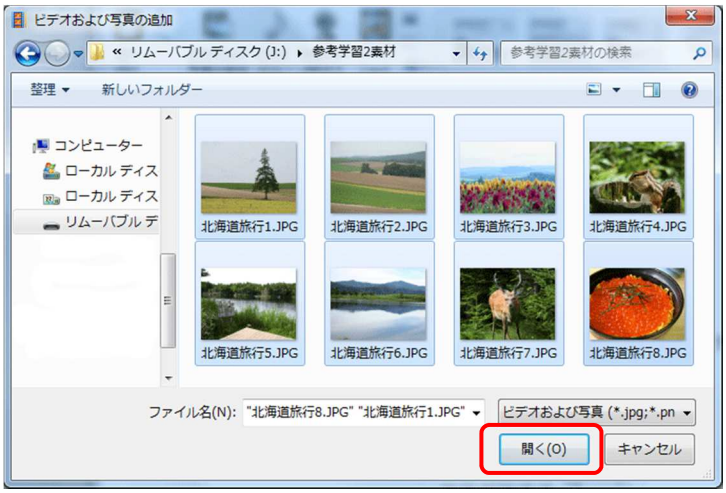


スタート⇒すべてのプログラム⇒Windows Live ムービーメーカーをクリックします

写真の読み込み

［ホーム］タブ⇒［ビデオおよび写真の追加］をクリックし、写真のあるフォルダーを指定します

ここをクリックしても同じです



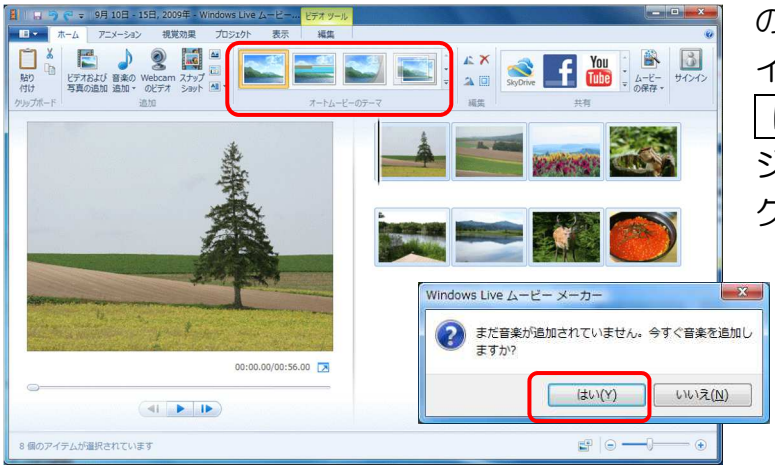
表示された写真の中から、使いたい写真を（Shift 又は Ctrl キーで）選択して 開く をクリックします

サイズ変更は

［プロジェクト］⇒ ワイドスクリーン

または、標準

オートムービーのテーマを選択

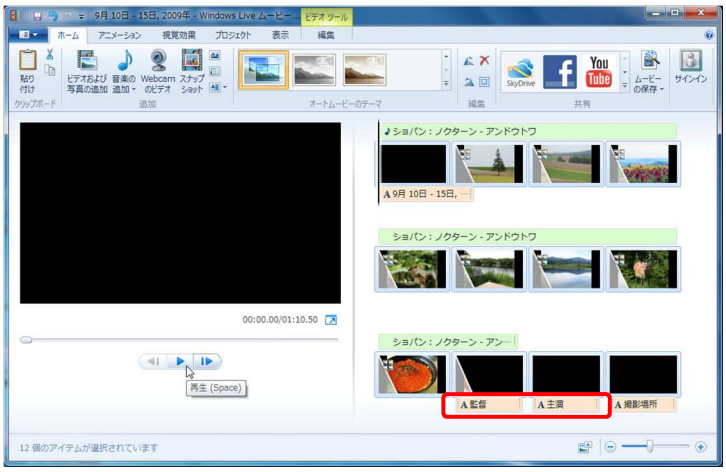


オートムービーのテーマから好みのものを選択⇒音楽を選択するダイアログボックスが表示されます はい をクリックするとミュージックの選択画面ダイアログボックスが表示されます

音楽が入ったら、再生してみよう。

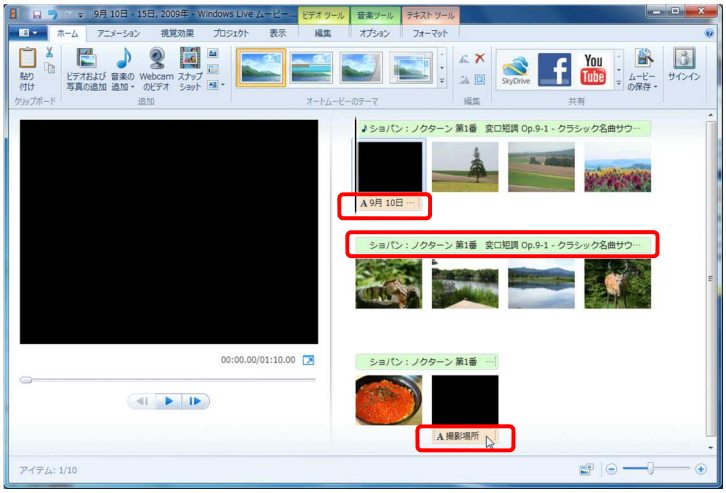
おすすめ！！

テーマ［移動および拡大］はすべての写真にクロスフェードの切り替え効果と移動及び拡大の効果が設定されます。



タイトル、切り替え効果、特殊効果、エンドクレジットなどが自動的に追加されます。

監督､主演を選択して Delete キーで削除します

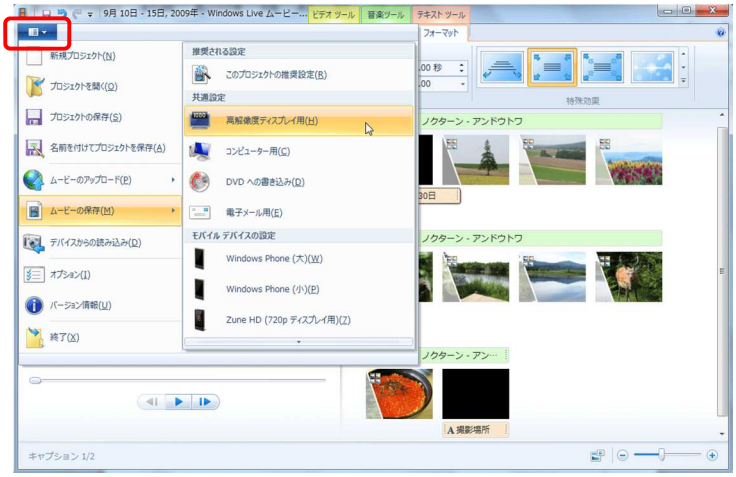


タイトルの［A9 月…］の文字を W クリックすると、編集できます

同様に､エンドクレジットの［A 撮影場所］の文字を W クリックし、編集しましょう

音楽を W クリックし､停止位置を調整しよう
フェードアウト：普通

ムービーの保存



［ムービーメーカー］ボタン⇒
［ムービーの保存］⇒
［高解像度ディスプレイ用］⇒
リムーバブルディスクに保存

高解像度ディスプレイ ＝ 80.0MB
コンピューター用 ＝ 30.4MB
電子メール用 ＝ 9.5MB
（写真のサイズ、枚数によって相違があります）

「DVD へ書き込み」はパソコンだけでなくテレビでも見られます。

コメント付きフォトアルバムを作ってみよう

Word を起動し、余白を設定しましょう

ページレイアウト ⇒ 余白 ⇒ 狭い（改行を入れておくと便利）

用紙の背景に「木目」のテクスチャを設定しましょう

ページレイアウト ⇒ ページの色 ⇒塗りつぶし効果 ⇒ テクスチャ ⇒ 木目

保存しておきます。

ファイル ⇒ 名前を付けて保存「アルバム 140809」

テキストボックスを使って、タイトル「Photo Album」を作りましょう

挿入 ⇒ テキストボックス ⇒ 横書きテキスト ⇒「Photo Album」と入力
書式 ⇒ 図形の塗りつぶし：濃い青テキスト 2、　図形の枠線：線なし
フォント：Impact、　サイズ：48pt、　フォントの色：白
中央揃え
回転：ハンドルをドラッグする

図形（日付の角丸四角形）

挿入 ⇒ 図形 ⇒ 角丸四角形
図形をクリック ⇒「DATE:2014.4.6 ↵ TITLE:春の訪れ」と入力
図形のスタイル：枠線のみ-紫,アクセント 4（他のスタイルでも OK）
図形の枠線：太さ ⇒ その他の線 ⇒ 幅 5pt、一重線/多重線 （太線+細線）
フォント：HGP 創英角ゴシック UB
回転：ハンドルをドラッグする

桜の写真を入れよう

挿入 ⇒ 図 ⇒ リムーバブルディスク ⇒ デジカメ講座 ⇒ アルバム用写真
書式 ⇒ 文字列の折り返し ⇒ 前面

サイズ変更： 　　移動：

挿入した写真の幅を同じにしたい場合は、
サイズを「110mm」などに設定
図のスタイル：シンプルな枠,白 など
図の回転　　回転ハンドル を左右にドラッグ

前面へ移動は複数の写真が重なっている場合、1 つ上に移動します。

同様に、「菜の花」「いちご」の写真を入れましょう

文字列の折り返し：全面、
サイズも調整します、
図のスタイルも設定しましょう

ピン

挿入 ⇒ 図形 ⇒ 円 ⇒ shift キー を押しながらドラッグ
書式 ⇒ 図形のスタイル ▼ ⇒ 光沢-オリーブ,アクセント 3
コピーをして小さくする

一つ目作成→ ←コピーをしてサイズ変更

図形（メモ）
挿入 ⇒ 図形 ⇒ メモ ⇒ 文字入力
図形のスタイル：パステル-オレンジ,アクセント 6（影がついているもの）
左揃え
コピー 図形（メモ）を選択、Ctrl キーを押しながらドラッグ

図形（背面の淡い色の四角形）
表示 ⇒ 1 ページ
1 ページ表示にしておくと図形を書きやすい。
挿入 ⇒ 図形 ⇒ 正方形/長方形
書式 ⇒ 図形の塗りつぶし：ベージュ,背景 2（お好きな色でよい）
図形の枠線：線なし
配置グループ ⇒ 最背面へ移動

上書き保存
ファイル ⇒ 上書き保存

自分の写真と入れ変えましょう。
写真を選択し、書式 ⇒ 図ツールの書式 ⇒ 図の変更 ⇒ 写真を選択します。

印刷（プリンタのメーカーや機種によって違いがあります）
ファイル ⇒ 印刷 ⇒ 印刷プレビュー …… 背景が印刷されない！

ファイル ⇒ オプション ⇒ 表示 ⇒ 印刷オプションで
☑背景の色とイメージを印刷する ⇒ OK

印刷ダイアログボックス ⇒ プロパティ ⇒ ☑フチなし

【参考書籍】

初心者のための Word2010（2010 年 6 月 3 日初版）
FOM 出版

趣味発見！デジタル写真自由自在（2009 年 9 月 23 日初版）
FOM 出版

趣味発見！ワードなるほど楽しい 2010 ドリル(2014 年 1 月 27 日発行）
FOM 出版

パソコン教科書 撮って楽しむデジカメ編（2008 年 8 月 4 日初版）
日経 BP ソフトプレス

速効！パソコン講座 デジカメ（2010 年 2 月 24 日初版）
毎日コミュニケーションズ

フォトショップエレメンツ 30 日でマスター（2010 年 3 月 15 日初版）
学研パブリッシング